

【5月・2歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (3歳1カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (3歳0カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (2歳11カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (2歳10カ月/7月生まれ)
子どもの姿	<ol style="list-style-type: none"> 着替えやトイレ等身の回りのことは一人でできるものの、保育者が側にいることを確認してから行動する姿が見られる。 積み木遊びでは友だちを誘い、「電車作ったよ」と嬉しそうに保育者に伝えながら遊ぶ姿が増えてきた。 家庭でも「お友だちと遊んだよ」と話すことが増えているようで、朝の受け入れ時も笑顔で保育室に入室できるようになってきている。 	<ol style="list-style-type: none"> 登園時、「ママという」と泣きながら母親にしがみつき、受け入れ後も保育者に「ママは？」と何度も尋ねる姿が見られる。 好きな遊びの時間には自分の思いを強く主張し、友だちの玩具を取ろうとする場面が増えている。 園生活の疲れから、最近は家庭でも母への甘えが強くなっているとのことである。 		
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 安心感を持って自分でできることに取り組む 友だちと関わりながら遊ぶ楽しさを味わう 	<ol style="list-style-type: none"> 保育者との安定した関係の中で安心して過ごす 自分の気持ちを言葉で表現する 		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 保育者に見守られながら、着替えやトイレ等身の回りのことを自分でしようとする。 好きな遊びを通して友だちと関わり、一緒に遊ぶ楽しさを体験する。 	<ol style="list-style-type: none"> 保育者に見守られながら、少しずつ母親との分離不安を和らげ、園生活に慣れる。 玩具の貸し借りを通して、友だちとのやりとりを経験する。 		
環境構成 配慮 援助	<ol style="list-style-type: none"> 着替えの際は「自分で履けたね！」と具体的に認め、「次は何をしようか」と声をかけながら、自分で考えて行動する機会を設ける。その際、本児の近くで見守り、困った様子が見られたら「どうしたの？」と問いかけ、必要な援助を行う。 友だちとの関わりを深められるよう、大型ブロックや電車ごっこセット等の友だちと協力して遊べる玩具を用意し、「○○さんと一緒に遊んでみる？」と誘いかけ、遊びの中での関わり方を具体的に示す。遊びの様子を見守りながら、トラブルが起きた際は「どうしたかったの？」と気持ちを聞き、解決の手助けをする。 	<ol style="list-style-type: none"> 登園時は、本児と母親が安心して別れられるよう、玄関付近に好きな絵本や玩具を用意しておく。泣いているときは「寂しいね」と気持ちを受け止めながら抱っこし、徐々に「一緒に○○しようか」と誘いかけながら、無理なく気持ちの切り替えができるようにしていく。 玩具の取り合い等、自己主張が強く出る場面では、「Bさんはそれが使いたかったんだね」と気持ちを認めた上で、「お友だちも使いたって言うてるよ。どうしたらいいかな？」と問いかけ、「順番こ」かして」等の言葉を具体的に示していく。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な野菜も「一口食べてみよう」と挑戦する姿が見られる。 「ピーマン食べられたね！」と具体的に認め、無理なく食べられる量を確認しながら、食事の楽しい雰囲気づくりを心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> 好き嫌いが見られ、とくに野菜は「イヤ」と残すことが多い。 無理強いをせず、保育者が「おいしいね」と一緒に食べる姿を見せながら、食事に対する不安や抵抗感を和らげるよう配慮する。 		
家庭との連携	<ol style="list-style-type: none"> 園での友だち関係の様子を連絡帳や送迎時に伝え、家庭と園での姿の共有を図る。 5月は気温の変化が大きいため、体調管理に配慮し、薄着と上着の調整について保護者と共有する。 	<ol style="list-style-type: none"> お気に入りのぬいぐるみや写真等、家庭からの「安心グッズ」を持ってくることを提案し、園と家庭の連続性を感じられるよう工夫する。 生活環境の変化について保護者と情報を共有し、家庭での様子や対応について定期的に話し合う機会を持つ。 		
評価・反省	<ol style="list-style-type: none"> 着替えやトイレ等身の回りのことは、保育者が見守る中で自分でしようとする姿が見られるようになってきた。時々「手伝って」と甘える場面もあるが、その都度「Aさんが自分でできるの见たいな」と声をかけると挑戦する意欲が見られる。 友だちと一緒に遊ぶ場面が増えてきたが、玩具の取り合いになる場面も見られる。「貸して」「いいよ」等、言葉のやりとりを丁寧に仲立ちしていきたい。 	<ol style="list-style-type: none"> 登園時の泣く時間は徐々に短くなってきているが、まだ母親との分離に不安を感じている様子が見られる。本児の好きな絵本を読んだり、触れ合い遊びをしたりすることで、少しずつ気持ちが落ち着くようになってきているため、今後も保育者との信頼関係を深め、安心して過ごせる環境づくりを継続していく。 自分の思いを強く主張する場面では、気持ちを受け止めながらも、相手の気持ちにも気づけるよう関わっていった。引き続き、肯定的な言葉がけを心がけ、自己表現の発達を見守っていききたい。 		

無料版：2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧&DL可能！

子どもの姿の1, 2は『ねらい/内容/環境構成・配慮・援助/評価・反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記：ウェブサイトに当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり **Plus!**

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。